

## 学部等教員組織編制方針

松戸歯学研究科

①専任教員数の遵守，教員の構成について
博士課程の研究指導を行うにふさわしい深い学識，豊かな経験及び優れた人格を兼ね備えた人材を配置する。専攻分野について，バランスの取れた適切な教員構成とする。
②教育効果に配慮したクラス編成，専任教員の授業負担への配慮について
研究者として自立して研究活動を行えるよう，専攻分野の関わる共同研究室において高度で専門的な歯科医学の研究指導を行う。 特定の教員に研究指導の負担が偏らないよう配慮する。
③教員の適切な役割分担及び責任の所在の明確化について
各教員は，資格，経験及び実績に基づき，大学院運営において適切な役割を分担する。 指導教授は，博士号学位の取得にふさわしい優秀な人材の育成に努める。
④教員の資質向上について
最新かつ最高水準の学識の維持と専門とする分野の発展に寄与するため，所属学会を通じて学内外の研究者との研究成果の交換に努める。大学院教育の充実につながるよう，FD活動等に積極的に参加する。
⑤その他，学部等として重視するポイントについて
歯科医学における高度で専門的な知識と経験を有し，広く社会に貢献できる優秀な研究・教育者，臨床家の育成に努める。